

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>基礎的・基本的な知識と技能の習得を図るために教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>学校行事の活性化や外部教育力の導入、単位の互換性を利用した幅の広い学習方法を検討し主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>確かな学力の定着と系統立てた系列科目の精選の観点から編成された教育課程に基づき、生徒の学習意欲を喚起させ、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>1 学校必修科目等における定期テストの共通化を図る。</p> <p>授業改善の手立てとして全生徒が集中して授業に臨む時間を設定し、学習意欲の向上を図る。</p>	<p>学校必修科目等の定期テストの共通化は図られたか。</p> <p>集中して授業に臨む時間の設定により生徒の学習意欲が向上し、単位未修得者を減少させることができたか。</p>					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>校内のルールを遵守させることで授業に集中させ規範意識を身につけさせる。</p> <p>部活動加入率を上げる工夫を行い責任感や連帯感の涵養を図る。</p>	<p>規範意識の涵養を図るため指導体制を組織的に構築し、一丸となって指導にあたる。</p>	<p>全ての教員が生徒の規範意識の向上を目指すとともに、校内のルールの見直しを行い、よりよい学習環境を整備する。</p>	<p>日常の授業不要物指導、頭髪服装指導に加え、キャリア教育の一環として公式行事等における服装指導を充実させ、その結果、生徒の規範意識の向上やキャリア教育に有効であったか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>ガイダンス科目の内容の見直しを行い生徒自らの意識の変容を図り進路未決定者を減らす取組みを行う。</p> <p>キャリアカウンセリングの研修を行い教員が適切な支援を行えるようにする。</p>	<p>適切な職業観や勤労観を育成し、また社会人として適応できる能力の育成に努める。</p>	<p>希望進路につながる履修指導やガイダンスを充実させるとともに、積極的に社会に関わろうとする能力の育成を行い、進路未決定者を減少させる。</p>	<p>適切な履修指導により、生徒が希望進路に応じた系列科目を選択でき、系列科目(発展科目)の履修と進路が結びついたか。自ら選択し進学、就職活動を行う生徒が増加し、進路未決定者が減少したか。</p>					

4	地域等との協働	近隣の小・中学校との交流を図り、地域での協働を推進し、信頼される学校づくりを進める。	近隣の施設や小・中学校と生徒が交流することや、また地域での協働を通して自己有用感を持ち社会に寄与する意識を育む。	近隣の施設や小学校・中学校等と、ボランティアや様々な体験活動を通じて支援・交流を行う。PTAと協働で実施する生徒発表行事を、地域連携の場として充実させる。地域の職業技術校、専門学校との連携事業を行い、生徒のキャリア教育の充実を図る。	近隣施設、地域等との交流・連携が深まり、内容や回数は充実したものであったか。					
5	学校管理 学校運営	教職員の資質の向上を図る取り組みを行い、課題解決に向けて組織として対応する仕組みを構築する。	教職員の資質の向上を図る研修を定期的に行う。	人材育成を図る適切なグループ編成により、効率的な業務遂行を図る。全体研修と対象職員を明確にした研修をバランス良く組合せ、教職員の資質向上につながる工夫を行う。	ネットワーク管理や私費会計業務をチームで行い、効率的な業務遂行の成果があったか。職員研修の充実により、生徒に成果を還元できたか。					